

わがまち

まごめ

会 所 大田馬込地区推進委員会
 出張 別 特 大田区中馬込 3 - 25 - 5
 出 張 所 大田区中馬込 3 - 25 - 5
 〒143-0027
 馬 込 特 大田区中馬込 3 - 25 - 5
 行 務 局 大田馬込地区推進委員会
 事務 所 大田区中馬込 3 - 25 - 5
 ☎ (3774) 3301(代)



散歩が進
 した。
 わつていま
 わらずにぎ
 として相変
 く『脇往還』
 所旧跡が多
 の往還は名
 から、こ
 道ができて

には物見遊山がつきもの。新しい東海
 結ぶ主要な道だったのです。また、旅
 かれるまでは、この往還が国の東西を
 結ばれました。その新しい東海道が開
 から海岸沿いを通って六郷の渡しへと
 ぶもつとも重要な道『東海道』が品川
 江戸幕府が開かれ、江戸と京都を結
 なのです。

今、目に行き来していた古い『往還』
 山の旅人が行き来していた古い『往還』
 池上に通じています。
 も見通しは利きませんが、バス道路が
 を経て品川へ通じる散歩道です。南側
 えませんが、前号に掲載した大森貝塚
 の大森駅は道路が曲がっているのを見
 道路の両側を確かめましょう。北側
 の交差点を今回散歩の基点とします。

三つ目の信号、大田区立山王会館入口
 大森駅前から池上通りを南へ向かい
 ◇音の道、いまは商店街

は、その『往還』を確かめながら、往還に沿った風物を訪ねてみることにしました。
 馬込の周辺には昔からとても重要な『往還』が通っていました。今回の散歩道
 旅する人々が行き来する主要な道を『街道』とか『往還』と呼びました。
 自動車も鉄道もなかった昔、旅は自分の足を頼りに歩くことでした。そして、

昔の道はいまも

馬込からの

散歩道

その十二

んだ所で見ることができりますが、標題
 に『いにしへの東海道』、説明に『この
 道は時代により奥州街道、相州鎌倉街
 道、平間街道、池上往還などと呼ばれ
 た古道です』と標された石碑がありま
 す。江戸幕府が開いた五街道の中にも
 奥州街道がありますが、それは日本橋
 が基点。ここに書かれた奥州街道は江
 戸期以前、京や鎌倉が政治の中心だっ
 た時に北の奥州に通じたいせつな道
 だったのです。

西に緑の台地と畑、東は海まで見通
 す広々と開けた往還。さまざまな目的
 をもった旅人が行き来するさまを想像
 することができま

◇根岸地藏



信号を背
 にし、陶器
 の間を山側
 へ入り、坂
 にかかる手
 前右側に、
 新井宿薬師堂があります。本紙42号、
 『弁天池から木原山へ』で終着点にな

つた所です。
 正面右左の木原山へ登る道を避け、
 左手やや戻るようにして坂を下り、山
 裾に回り込みます。山裾の道の70、80
 メートルほどの所に根岸地藏があります。

それは、椎の大木に覆われ、そこだ

けぼつかりと、時の流れの中で取り残
 されたような空間に、ひっそりとたた

ずんできます。

もとは崖から落ちる土砂に半身を埋
 められて『土かむり地藏』などと無情
 な名前で呼ばれたこともあったのだそ
 うです。今はお堂に納まり、派手な色
 の衣と被りもの間から、風化した赤
 褐色の顔を覗かせています。



善慶寺階段

地蔵を取り囲むこの一画は、古都鎌
 倉の奥谷戸を想わせるような雰囲気
 もっています。

裏手にある大田区立山王会館には、
 馬込文士村の資料展示も常設されてい
 ますので、ぜひ立ち寄られることをお
 勧めします。

◇熊野神社と善慶寺（義民六人衆）

「サンサン根岸児童公園」を左に見な
 がら先へ進みます。坂道を小さくのぼ
 りおりすると、やや急な坂道が山裾の
 斜面を這い上がるように続いていて、
 左側には「大田区保護樹」に指定され
 た大きい櫻が五本並んでいます。その
 坂を登るにつれ、左側の視界が開けて
 きます。東へ広がる田園と、その先の
 江戸湾の眺望といった昔の風景を、今

は想像するしかありません。
 この右手の斜面林から北へ続く台地
 が、木原山と呼ばれ、この地の代官木
 原氏の屋敷と陣屋があった所です。
 坂を上がりきると熊野神社です。鳥
 居の額には『熊登宮』、柱の裏には『寛

政八年』の文字が読みとれます。区内

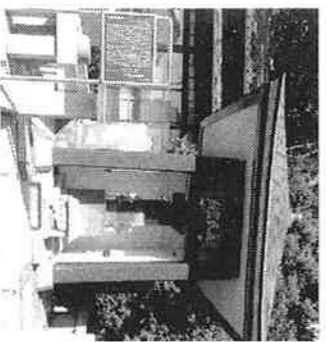
では二番目に古い鳥居です。鎮守の森
 らしく、うつそうとした木々に覆われ

て社殿が建っています。

拝殿前庭の右側に、若者たちが力比
 べをした『差し石』があります。また、
 左側には『狐碑』があり、「このキツネ
 は永いこと住民にいたずらをしたの
 で、ここに埋めました。これから先ず
 つと掘り返してはいけません」という
 意味の高札が建っています。昔の人の
 本気が、今はユトーアに思えます。

本気が、今はユトーアに思えます。

犬が、今はユトーアに思えます。
 も三匹ずつの子犬が戯れています。
 階段を降りると善慶寺です。この石
 段は勾配もかなり急なので十分気をつ
 けてください。途中からお稲さんの
 方へ回り込むとやや楽に下れます。
 日蓮宗、法光山善慶寺の日本山は京
 都市の妙満寺で正応四年（1291）



の建立です
 が今は『義
 民六人衆の
 寺』として
 知名度が高
 くなってい
 ます。都の
 史跡に指定

◇再び往還へ

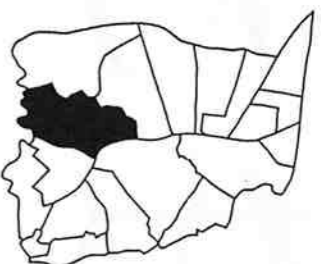
善慶寺の参道を東へ行くと、池上通
 りに戻ります。先程分かれた信号より
 三百米ほど池上よりです。ここは昔の
 往還。再び昔の道をたどるのですが、
 この先の案内は、次号にゆずります。

この「わがまちまごめ」は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

馬込の自治会・町会 (その二)
(所在地・行政順)

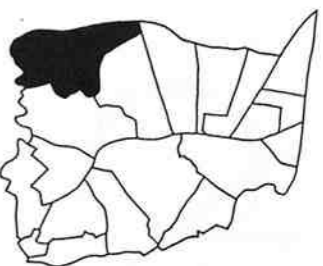
五十号に引きつぎ、馬込地区の自治会・町会の所在地をご紹介します。馬込地区は昔から、地域の助け合いの気風が強く一度馬込に住まれた方が、地方転任から東京へもどられる時に、又馬込に住みたいと部屋探したのまれる事もあります。

近年、世の中は騒がしく、都心から離れてはいても、美しい緑が多く残っている、物騒な世相は馬込にもひしひしとせまって来ています。天災が起ころとも地元の助け合いが大切ですが、身近な一寸した防犯のこと、住みよい地域であるように。自治会・町会を中心に、輪をひろげて馬込地区が安心生活区であるよう、進んでご協力くださるよう話し合われてはいかがでしょうか。



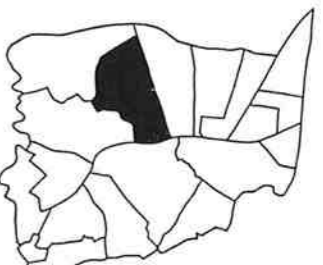
南馬込西一会
会長 須惠忠義

2,067 世帯



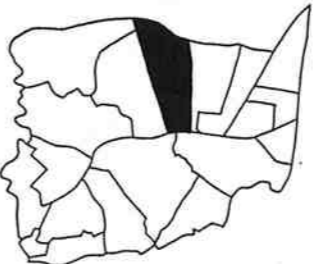
馬込西二丁目町会
会長 高瀬庄三

1,845 世帯



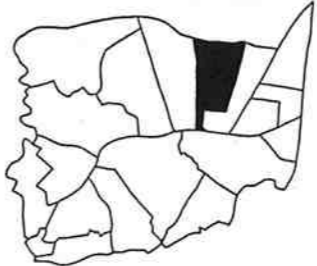
馬込二本木町会
会長 杉山茂樹

1,565 世帯



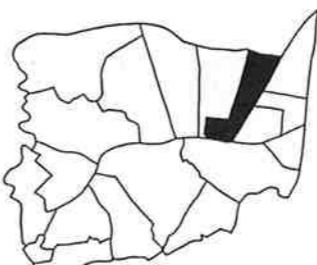
中馬込宮ノ下町会
会長 波田野 章

1,544 世帯



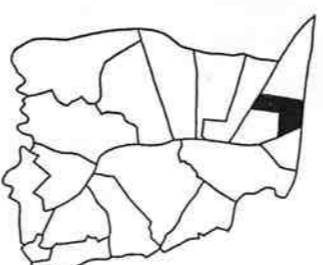
中馬込貝塚町会
会長 菅崎 貢

1,767 世帯



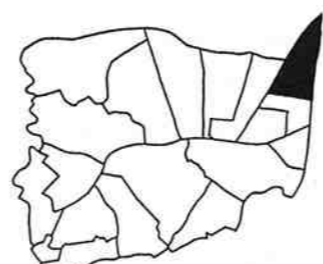
馬込浅間町会
会長 小田 茂

1,090 世帯



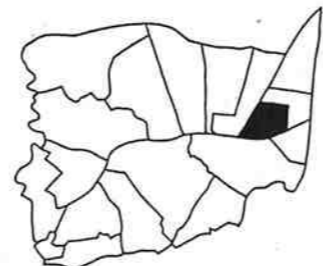
馬込北自治会
会長 濱福秀夫

517 世帯



北馬込二丁目町会
会長 佐藤寛海

1,497 世帯



北馬込二丁目寺郷町会
会長 加藤富保

657 世帯

臨海斎場操業開始

大田・品川・港・目黒・世田谷の五区が共同で作った斎場が一月十五日からいよいよ操業を始めました。まだ全面的に出来上ったわけでは無いのに、問い合わせや予約が入り、予想以上の反応だそうです。

◎日赤献血 ご協力願います。

3月3日(水) ライオンミニマニア西馬込

3月4日(木) 馬込三本松町会事務所

◎レクリエーション大会(三中学校)

10時～11時半、12時半～15時半

3月5日(金) 北野会館

◎第14回馬込文士村大桜まつり

日時 1/4(日)12時～16時雨天決行

会場 桜並木公園・桜並木通り

流し踊り・阿波踊り、馬東中ストリートダンス・馬込中ソラン。

郡上明宝の物産販売。(予定)

馬込文士村グッズ販売。

◎大田区子どもガーデンパーティー

日時 4月25日(日)10時～15時

会場 池上本門寺公園

◎第3回馬込子まもり会イベント

日時 5月30日(日)10時～15時

会場 宗福寺(北馬込二丁目)

◎熊谷恒子記念館

1/4 6/27

◎熊谷恒子記念館

1/4 6/27

「かなの美展」

◎龍子記念館

1/4 6/27

「龍子の軌跡を追う、後期」

◎郷土博物館

2/25 3/21

「大田区小学校物語」

◎火事に気をつけましょう

昨年十一月から、毎日のように『乾燥注意報』がでています。

家の周りに燃えやすい物を置かないように。家の中でも電話に出る時にはガスの火は止めてから、テレビの裏などやコンセントの綿ぼこりをこまめに掃除する。

に、皆さんで気をつけましょう。

まごめ文芸

俳句

霜降の雲ひとつなき朝ぼらけ

南馬込一 森岡達吾

じゃが芋を引けば土の香附いて来し

村上知子

つくばひにあふるる水も春隣

伊藤俊子

時折は雨にかはりて忘れ雪

小林弘子

期すること何もなきまま松過ぎし

桜井ゆかり

麗しき人の賀状の熱き歌

読みかへしつこる華やぐ

篠原信子

さらきらと雨はみそれに変わりたり

春まだ遠き如月の宵

奥田マサ

屋蘇くみて田舎雑煮のもてなしに

寛ぎ祝ふ古い母のもと

大塚ちよ

大小の氷柱を入れし水割りの

グラス揺らせば清しき音色

矢島克子

朝十時子連れで集う体育室

好きだからこそパリのパリ

文化センターの片隅より

編集後記

○昨年末から年頭にかけて、牛・

鯉・鳥の不祥事の上に新型肺炎の

再発、北海道の暴風雪、これらの

事象は地球環境に対する自然界か

らの警告なのでしょうか。

今年の干支は申(猿)。猿まね、

猿知恵、猿芝居等、悪いイメージ

をとりサル気持ちで、明るくて、

平和な良い年にしたいものです。